

令和7年度 福岡県
ノーリフティングケア普及促進事業
実践報告

～二女福祉会の6年目～

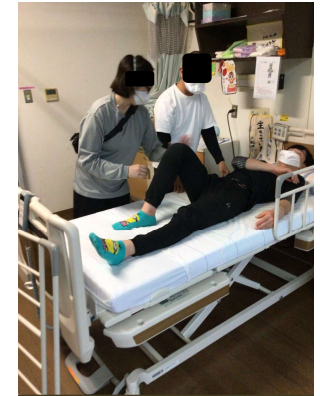
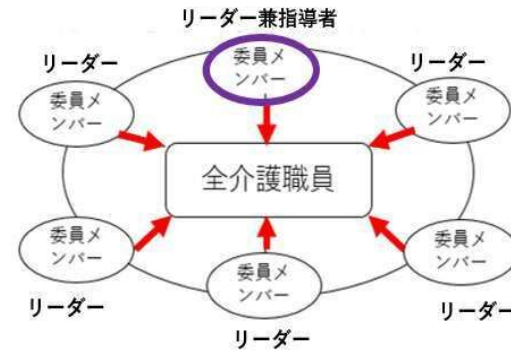
「5つの柱と腰痛アンケートから得られたノーリフティングケアの試み」

社会福祉法人 二女福祉会
特別養護老人ホーム仙寿苑・はまぼう

5つの柱

1. 教育 新人教育と現任者教育

- ・いつ? ちょっとの時間も無駄なく日常業務の中で
- ・だれが? ノーリフティングケア委員会のメンバー (リーダー) が指導者。常にピンチヒッターがいる環境
- ・どこで? 現場の中で、少しずつ



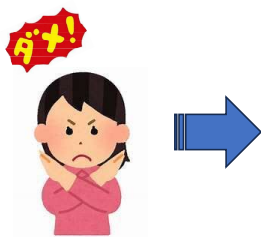
更に、特定技能外国人への指導



教育は教科書だけではない。現場で実践するんだ!!

指導者=委員会メンバー

現場の中で、正しい姿勢や介護方法を指導していく

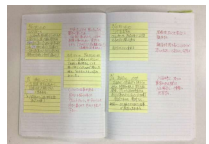


5つの柱

2. リスクマネジメント

PDCAサイクルで見直し

- ①出来るだけ多く、できるだけ早く
ヒヤリハットノートへ翌日までに対策を記載
- ②申し送りでの検討と再共有 対策の実行と見直し
- ③組織全体で、情報共有と対策案の検討
定期会議の中で報告し他部署との情報共有
- ④申し送りノートで情報共有とマニュアル
決定事項の情報共有
- ⑤ラウンドチェックの実施。
定期開催が行えずに課題



項目	内容	担当者	完了日
1. 腰痛アンケートの実施			
2. 腰痛アンケートの結果の共有			
3. 腰痛アンケートの結果に基づいた対策の実施			
4. 腰痛アンケートの結果に基づいたマニュアルの作成			
5. 腰痛アンケートの結果に基づいたラウンドチェックの実施			
6. 腰痛アンケートの結果に基づいた定期開催の実施			
7. 腰痛アンケートの結果に基づいた課題の抽出			
8. 腰痛アンケートの結果に基づいた課題の解決			
9. 腰痛アンケートの結果に基づいた課題の再発防止			
10. 腰痛アンケートの結果に基づいた課題の報告			

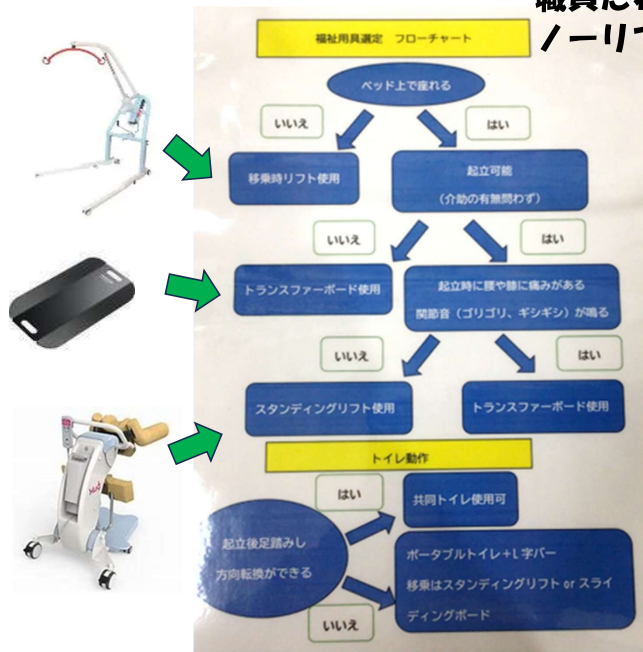


5つの柱 3. 個別ケア



職員だれもが
ノーリフティングケアの視点で!

「福祉用具選定
フローチャート」
と
「トイレ選択
フローチャート」
作成



③ 職員間で情報共有

私の時は・・・にならないように
利用者様も看護も介護もみんな

④ 「見える化」のバージョンアップ 日本人だけでなく外国人もわかるよう 「仙寿苑」も福祉用具の視覚化

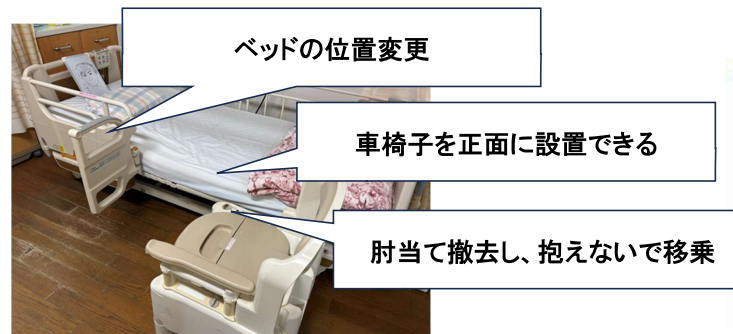
⑤ 福祉用具を近くに配置

配置場所を適宜見直しをする
すぐ近くに配置することで、
稼働率up



① リハ専門職不在の中、介護職員が活躍
メンバーを中心に、入所時情報より環境整備

② グループにて見直し実施
機能面だけではない! 福祉用具が使用できる環境?
利用者様の受け入れは大丈夫か?



5つの柱 4. 健康管理

① 利用者様と一緒に
ラジオ体操実施



② 入職時腰痛調査 本人・産業医への聞き取り

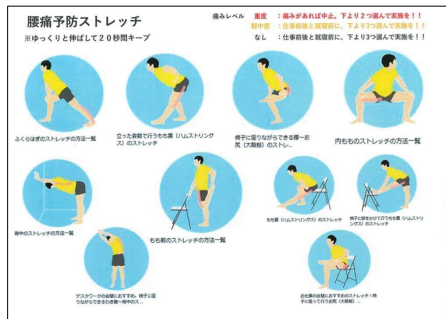
③ 管理者面談による健康確認
年2回の職員面談時に健康確認・業務変更や部署移動の検討

④ 腰痛調査実施
年2回痛みの重症度レベルに応じた対処方法を提案
個別指導に至らず 今年も反省

腰痛アンケートから見えてきたもの
シーツ交換・入浴介助・排泄・更衣介助による腰痛!
今年も絶対、ノーリフティングケアで対策を実施



痛みレベル	主な症状	生活上での注意等	体操の種類
重度	5	常に痛みがあり、業務だけでなく日常生活にも支障を来している。時に、足にしびれがありつらい状態。痛み止めなど、必要とする事もある。	これだけ体操 痛みに応じて実施
中等度	4 3	業務への支障は来しているが、日常生活への支障はない。コルセットやストレッチ、市販薬にて対応ができています。	継続体操
軽度	2 1	時に痛みを感じるが、腰が重く感じる程度で業務や日常生活への支障はない。	
なし	0	腰に違和感はなく業務への支障なし。	



5つの柱 5. 福祉用具・環境

①福祉用具管理表

二丈福祉会独自のチェックシートを作成も 定期的な実施には至らず反省。

今年度一押し!

②職員の声より浴室の福祉用具見直し

腰痛アンケートより 浴室における福祉用具見直しを困り、手すりを設置



車椅子 点検チェック表

No.	項目	点検項目
1	タイヤの空気圧は適正か(右)	
2	タイヤの空気圧は適正か(左)	
3	タイヤの劣化はないか(ヒビや亀裂等)	(右)
4	タイヤの劣化はないか(ヒビや亀裂等)	(左)
5	介動用ブレーキは利くか(右)	
6	介動用ブレーキは利くか(左)	
7	駐車用ブレーキは利くか(右)	
8	駐車用ブレーキは利くか(左)	
9	フットサポート(足のせ台)の上げ下げはできるか(右)	
10	フットサポート(足のせ台)の上げ下げはできるか(左)	
11	左右のフットサポート(足のせ台)の高さは同じか	
12	バックサポート(背もたれ)はたわんでいないか	
13	シート(座面)はたわんでいないか	
14	車体はガタついていないか	
15	車いすを押すと異音はしないか	
16	(駐車用)ブレーキをかけた状態で静置	
17	フットレストカバーの装着をしているか?	
18		
19		
20		

③入浴用ストレッチャー増設で乗降時の事故予防

リクライニング車椅子を利用することなくストレッチャーを増設しスムーズに浴室へ



④根拠に基づく排泄ケアとオムツ交換マニュアル見直し

排泄ケアを見直すことで、オムツの交換回数は激減。オムツのマイスター制度導入で職員のやる気UP!

⑤寝具変更 ボックスシーツ導入

交換が大変な従来型シーツよりボックスシーツへ変更



⑥スタンディングリフト購入と床走行リフト増設

補助金を活用し、移乗機器の選択は拡大。浴室やトイレでもノーリフティングケア



最後に… 6年目を振り返って

今年度 できたこと

- ①職員の声で浴室環境の見直しと福祉用具増設
- ②日常生活にノーリフティングケア
- ③フローチャート完成と見える化のバージョンアップ



努力が必要なこと



- ①マニュアルの作成 ・現任者研修の実施
- ②定期的なラウンドチェックと委員会の開催
- ③マンネリ化からの脱却と意識改革

今さら、リフトやボードがない介護現場は想像できない!
二丈福祉会は、ノーリフティングケアをしっかりと定着させ、さらに展開し続けます!!